

令和 7 年度 社会福祉法人葛巻町社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

「人生100年時代」の到来と言われる今日、本町においても高齢化率が50%を超え、高齢者だけの1人、2人世帯が増加し、潜在的な「生活弱者」が益々増加する傾向にあります。

一方で、生活環境は、食料品、燃料費をはじめとした生活必需品の価格高騰が日常生活に与える影響は大きく、とりわけ「生活困窮」の方々の生活は、依然として厳しい状態にあります。

このような状況下にあって、暮らしのセーフティネットの最後の拠り所として、一人の町民も取り残されることのない「共に支え支えられる地域福祉のまちづくり」を目指し、令和7年度においても昨年に引き続き次の3項目を重点施策として掲げ、町当局や福祉団体等との連携強化を図りながら、充実したサービスの提供に取り組んで参ります。

特にも昨今、高齢者からの買い物に関する悩み、相談が寄せられる傾向にあることから、買い物に係る支援に着手します。

〈重点施策〉

- 一．町民の日常生活を支えるために、通院、買い物等に係る移動、運搬の支援策、多様な相談窓口の確保、制度資金の推奨や食材、物資の提供など直接的な支援を強化する。
- 二．町民の生きがいづくりを支援するために、高齢、障がいの方々をはじめとした町民の交流の機会や憩い・やすらぎの場を安定的、継続的に提供する。
- 三．孤立や引きこもりあるいは孤独死等を防止するために、関係機関・団体等と連携し、「見守り」を個人のプライバシーに配慮しながら重層的に強化する。

【事業計画】

1. 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり

①世代間交流等の地域活動の支援【予算:680千円】

各世代間の交流を促進し、誰もがつながりを持てる地域づくりを進めます。

- ・福祉事業補助金交付（1団体2万円以内）

②すずらん工房の経営【予算:39,737千円】

就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練などを行う就労継続支援（B型）事業所「すずらん工房」を運営します。

- ・就労の場の確保
- ・利用者工賃の向上（目標：前年度比月額１％増額）

③地域活動支援センターの経営【予算:100千円】

障害によって就労が困難な人に対し、創作や作業、地域社会との交流促進などの機会を提供する地域活動支援センターを運営します。

- ・３障がい交流会の開催（８月）

④除雪支援事業の推進【予算:100千円】

自治会等と連携し高齢者世帯等の除雪を支援します。

- ・自治会へ除雪支援の要請
- ・シルバー人材センターとの連携
シルバー人材センターの利用料補助

⑤配食サービス事業【予算:12,774千円】

高齢者等へ１食350円で弁当（昼食）を月４回宅配します。また、弁当の宅配に併せた「重い買い物」の運搬支援を一部地域で実施します。

⑥外出サービス事業【予算:865千円】

公共交通機関の利用が困難な方の移動をリフト付き車両で支援します。
（有料）

⑦介護者リフレッシュ事業【予算:101千円】

在宅で家族を介護している方を対象に介護技術の研修や情報交換の場を提供します。

- ・介護者の集い開催（２月）

⑧おたっしやの会の開催【予算:228千円】

65歳以上のひとり暮らしの方を対象に交流会を開催します。（７月・１月）

⑨日常生活用具の貸出

障がい者等の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具を貸し出します。

- ・車イス（大、普、小）の貸出（18台保有）
- ・電動介護用ベットの貸出（20台保有）

⑩子育て支援事業【予算:549千円】

子育て世帯を支援します。

- ・新生児オムツ給付券(20,000円分)の交付
- ・チャイルドシートの無料貸出（12台保有）
（クリーニング代1,650円利用者負担）

⑪ぬくもり助成事業【予算:1,899千円】

高齢者や障がい者等のいる低所得者世帯に対し、冬期間の経済的負担の軽減を図るため、ぬくもり助成金を交付します。

- ・ぬくもり助成金の交付（一世帯3,000円）

⑫ふれあいサロン「やすみっこ」事業の推進【予算:200千円】

高齢者等のふれあいの場となるサロン活動を支援し、仲間づくりや健康づくりの推進に努めます。

- ・助成金の交付（上限2万円）
- ・軽スポーツ用具やカラオケ機材等の貸出

⑬高齢者の居場所づくり【予算:20千円】

交流の機会の創出と、住民ニーズの把握や日常生活課題の支援に努めます。

- ・高齢者福祉センターを活用した通いの場づくり
うたごえ喫茶の充実（毎月第1木曜日）
猛暑避難所として1階「おやすみ所」を開放（7月～9月の開館時）
- ・オレンジカフェの開催

⑮生活困窮者自立支援事業【予算:540千円】

自立に向けた相談窓口の設置、就労支援、家計改善の支援、住居確保の支援等に努めます。

- ・フードドライブ事業
- ・緊急食糧支援
- ・生活福祉資金、たすけあい金庫の貸付
- ・くずまき安心サポート事業
- ・地域食堂の支援（年4回程度）

⑯高齢者福祉センターの管理運営【予算:11,903千円】

町の高齢者等をはじめ地域住民の福祉向上に資するため、また本町の福祉を推進する中核施設として、本会の事業と連動させながら施設の適正な管理運営に努めます。

⑰各種団体の活動支援【予算:295千円】

福祉団体に対し助成を行うとともに、団体の活動支援を行う。

- ・日本赤十字社岩手県支部葛巻町分区への支援
- ・葛巻町共同募金委員会への支援
- ・葛巻町民生児童委員協議会への支援
- ・葛巻町老人クラブ連合会への支援
- ・葛巻町身体障害者福祉協議会への支援
- ・ボランティア団体への支援
- ・葛巻町シルバー人材センターへの支援

⑱見守り活動の推進【予算:451千円】

高齢者が地域で安心して生活できるよう、日頃からの見守り活動を推進します。

- ・シルバーメイト事業

⑲自殺予防対策の推進

心の健康づくり連絡会を中心に行政、各種団体、関係機関等と連携し、自殺予防対策の推進に努めます。

- ・こころの健康づくり連絡会との連携
- ・見守り活動の継続
- ・ふれあいサロン活動の継続
- ・相談活動の継続
- ・地域安心生活支援員との連携

2. 地域福祉を支える人材育成と仕組みづくり

①福祉教育の推進【予算:270千円】

児童や生徒の社会奉仕及び社会連帯の精神を育むため、福祉推進校を指定し、福祉体験や地域との交流活動を推進します。

- ・福祉推進校補助金交付
- ・福祉推進校への協力・援助

②福祉のつどいの開催【予算:143千円】

福祉を身近に感じていただけるよう、啓発イベントの開催や福祉に携わる人の交流の機会の場づくりに努めます。

- ・ 社会福祉大会、福祉チャリティショー、福祉バザーの開催
(11月 9 日)

③ボランティアの育成【予算:50千円】

ボランティア活動に関する住民の関心を高めるため、ボランティア養成講座及び交流会を開催し新たな福祉活動の担い手の確保、ボランティアの育成に努めます。

- ・ ボランティアセンターの運営
- ・ ボランティア養成講座や交流会の開催

④相談体制の整備【予算:132千円】

住民の心配ごとや悩み事に応じるため、心配ごと相談所の開設や関係機関の連携による相談機能の強化を図り、相談及び援助活動の体制整備に努めます。

- ・ 心配ごと相談所の開設（月 2 回）
- ・ 法テラスとの連携
- ・ 町の法律相談との連携

⑤情報提供の充実【予算:443千円】

広報誌やホームページで、住民に本会の事業や取り組みをはじめとする地域福祉に関する情報を発信します。

- ・ くずまき社協だよりの発行（年 6 回）
- ・ ホームページの更新

⑥権利擁護制度の利用促進

判断能力が不十分な方の福祉サービス利用を援助し、権利侵害を受けることなく地域で安心して生活できるよう支援を行います。

- ・ 日常生活自立支援事業の推進
- ・ 成年後見制度の周知
- ・ 苦情解決制度の周知

3. 地域協創のまちづくりに向けて

①生活支援体制の整備【予算:1,882千円】

生活支援サービスの提供体制を構築できるよう、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、関係機関と連携して支援体制の充実を図ります。

- ・ 生活支援コーディネーターの配置
- ・ 葛巻町シルバー人材センターとの連携

②災害時等の支援体制構築

緊急時や災害時等における要援護者の安否確認や救援を図るため、行政と連携し、要援護者の支援体制の構築に努めます。

- ・緊急連絡カードの整備と関係機関での情報共有
- ・災害見舞金の交付

4. 組織・財政及び活動基盤の強化

- ①理事会、評議員会、監事会、正副会長会議の開催
- ②各種委員会の開催（評議員選任・解任委員会、企画・財政委員会、福祉事業推進委員会等）
- ③会員の加入促進（一般会員、賛助会員の確保）
- ④財務・人事・労務管理・法務等の適切な管理のための研修
- ⑤経営基盤の確立のため各種助成金の活用
- ⑥財務状況及び活動状況の公開
- ⑦役職員研修の実施